

「f・wave」とは、

fは、family-家族、
friend-友、
freedom-自由、
future-未来、そして
f-強く、を意味し、

waveは、波を表します。
f・waveは、社会環境の変化の
波を誌面を通じて伝え、男女が生
き生きと暮らせる未来をめざすコミュ
ニケーション誌です。

f・wave



特集1

めざせ みんなが主役! 「男女共同参画社会」

特集2

わたしらしく、あなたらしく、ゆたかに暮らすために
「あきる野男女共同参画プラン」

めざせ みんなが主役！

「男女共同参画社会」

Q&A

男女共同参画社会基本法が平成11(1999)年6月に成立してから5年余りが経過しました。「男女共同参画社会とは何か?男女共同参画で何が変わるのか」、女と男のバランス社会に向けて、基本法の目指すものについて紹介します。

男女共同参画社会って何?

日本の憲法には個人の尊重、法の下での平等がうたわれています。しかし、大事な意思決定の場に女性に加わることができなかつたり、男女間で不平等を感じたりすることは多くあります。

もまだまだ多いようです。

また、少子高齢化などの社会経済状況が変化していく中で、「男は仕事、女は家庭」というような性別による固定的な役割分担にとらわれずに、職場で、学校で、地域で、家庭で、男女がそれぞれの個性と能力を発揮できる社会のことを言います。

5本の柱 男女共同参画社会を つくっていくための 基本理念って何?

3 政策等の立案及び決定への共同参画

男女が、社会の対等なパートナーとして、いろいろな方針の決定に参画できるようにすることです。

1 男女の人権の尊重

男女の個人としての尊厳を重んじること。男女の差別をなくし、「男」「女」である以前に一人の人間として能力を発揮できる機会を確保することです。

4 家庭生活における活動と他の活動の両立

男女はともに家族の構成員。お互いに協力し、社会の支援も受け、家族としての役割を果たしながら、仕事、学習、地域活動をしたりできるようにしていくことです。

2 社会における制度または慣行についての配慮

固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が様々な活動ができるよう、社会の制度や慣行のあり方を考えることです。

5 国際的協調

男女共同参画社会づくりのために、国際社会とともに歩むことも大切。他の国々や国際機関とも相互に協力して取り組んでいくことです。

国・地方公共団体及び国民の役割

国 は、基本理念に基づき、男女共同参画基本計画の策定をはじめ、積極的改善措置を含む男女共同参画社会づくりのための施策を総合的に策定し、実施することです。

地方公共団体 は、国と同様に、基本理念に基づき、男女共同参画社会づくりのための施策に取り組むとともに、地域の特性を生かした施策を展開することです。

国民 は、男女共同参画社会づくりに協力することです。

Q 男女共同参画と少子化は関係あるの?

男女共同参画の取組は、男女の人権の尊重を基本としながら、少子高齢社会の到来などの社会経済状況に対応した施策の推進を図っています。

平成15年の合計特殊出生率(一人の女性が生涯に産む子ども数の平均数)は、1.29と最低記録を更新しています。未婚率の上昇が少子化の主因であることはよく知られています。厚生労働省の「人口動態統計年表」によると、平成14年の女性の平均初婚年齢は27.4歳、男性は29.1歳となっています。

晩婚化の理由として、固定的な性別役割分担やそれを前提とした社会制度のあり方が結婚に対する魅力を少なくしていると言われています。

こうした背景には、子育てや介護などの負担が女性に集中していることや、核家族化などにより、家庭の養育力が低下していることなどもあると指摘されています。

夫婦が協力して子育てや介護などに当たることや、社会的な支援機能を充実させることで、女性の育児や家事負担を是正し、それが、結婚に対する希望や子どもを生み育てることへの喜びとして広がっていくのではないのでしょうか。

Q 私たち市民は何をすればいいの?

家庭や地域、職場等あらゆる場での自らの問題として受け止めていくことが大切です。性別に関わりなく、男女が対等にあらゆる場に参画できる社会を目指していきましょう。

Q 外国と比べて日本の状況はどんなの?

男女共同参画白書(平成16年度)によると、女性の社会進出度を示すジエンダー・エンパワーメント指数(GEM)は世界70か国中日本は44位(※)です。これは、諸外国に比べ女性の教育水準や平均寿命が高い割に社会での女性参画率が低いことを表しています。

※GEM 政治及び経済への女性の参画の程度を表す。測定可能な国数は70か国

男女共同参画をめぐる世界・日本の動き

世界	日本・あきる野市
●国際婦人年 「国際婦人年世界会議」(第一回世界女性会議「メキシコシティ」)	●「女子差別撤廃条約」署名
●国連総会「女子差別撤廃条約」採択	●「男女雇用機会均等法」成立
●「国連婦人の10年中間世界会議」(第二回世界女性会議「コペンハーゲン」)	●「女性差別撤廃条約」、「年金関連法」改正
●「世界人口会議」(メキシコシティ)	●「育児休業法」改正
●「国連世界人権会議」(国連「女性に対する暴力撤廃宣言」(ウィーン))	●「育児休業法」成立、「西暦2000年」に向けての「新国内行動計画(第2次改定)」
●「国際人口・開発会議」(カイロ)	●「パートタイム労働法」成立
●「国連社会開発サミット」(コペンハーゲン) (第4回世界女性会議(北京))	●「子どもの権利条約」批准
●「子どもの商業的性的搾取に関する世界会議」(ストックホルム)	●「育児・介護休業法」改正
●「国際高齢者年」(女子差別撤廃条約選択議定書)採択	●ILO第156号条約批准
●「国連特別総会」(女性2000年会議)	●「あきる野市男女共同参画計画」(あきる野市)策定
●「2000年」	●「あきる野市男女共同参画計画」(あきる野市)策定
●「2001年」	●「あきる野市男女共同参画計画」(あきる野市)策定
●「2003年」	●「あきる野市男女共同参画計画」(あきる野市)策定
●「2004年」	●「あきる野市男女共同参画計画」(あきる野市)策定

わたしがこころをあなたにこころをわたすために暮らすために

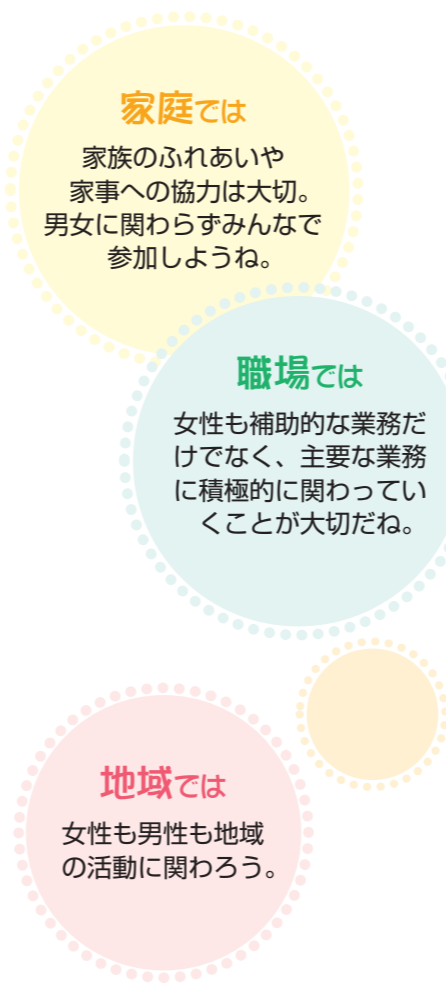
あきる野市では平成16年3月、「あきる野男女共同参画プラン」を策定しました。これは、平成15年11月に「男女共同参画推進市民会議」から出された提言を基に、平成10年に策定した「女性プラン」の取組の視点を「女性問題」から「男女共同参画」へと見直しを図ったものです。今年の4月から新しい計画がスタートしました。男性も女性も生き方や働き方が変わっていく中で、家族のあり方にも変化が現れています。性別役割から個性を大切にしたい自立と共生の社会を目指して、私たちもできることから始めてみませんか。

お互いの個性がひかる共同参画
 (平成16年度男女共同参画週間標語)
 男女共同参画週間(6月23日~29日)

「あきる野男女共同参画プラン」の中では、「女性も男性も性別にとらわれないことなく、それぞれの個性や能力を十分発揮し、家庭、地域、職場等のあらゆる分野に責任を持って共同参画し、多様な生き方を自由に選択し、豊かさを享受することができる社会」の実現を目指しています。

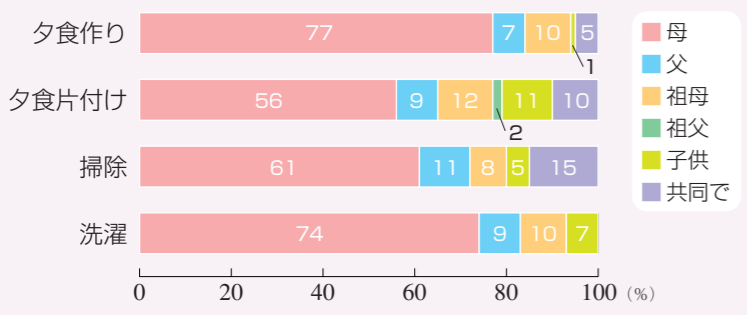
あきる野市でどういう施策を推進し、どのような地域づくりをしていくのか、そのポイントとなるのが「人権尊重と男女平等」、「多様な生き方の尊重」、「男女共同参画」という3つの基本理念です。基本理念を基に4つの基本目標と5つの課題が設定されています。

これからは男女が対等に、さまざまな分野に参画していく時代です。意識を変え、と、見えてくる新しい暮らしの主役はあなたです。



女の仕事 男の仕事ってなに？

小学生が見た家事分担



質問内容

- ①夕食を作るのは誰？
- ②夕食の片付けは？
- ③掃除は？
- ④洗濯は？
- ⑤男の仕事って何？
- ⑥女の仕事って何？

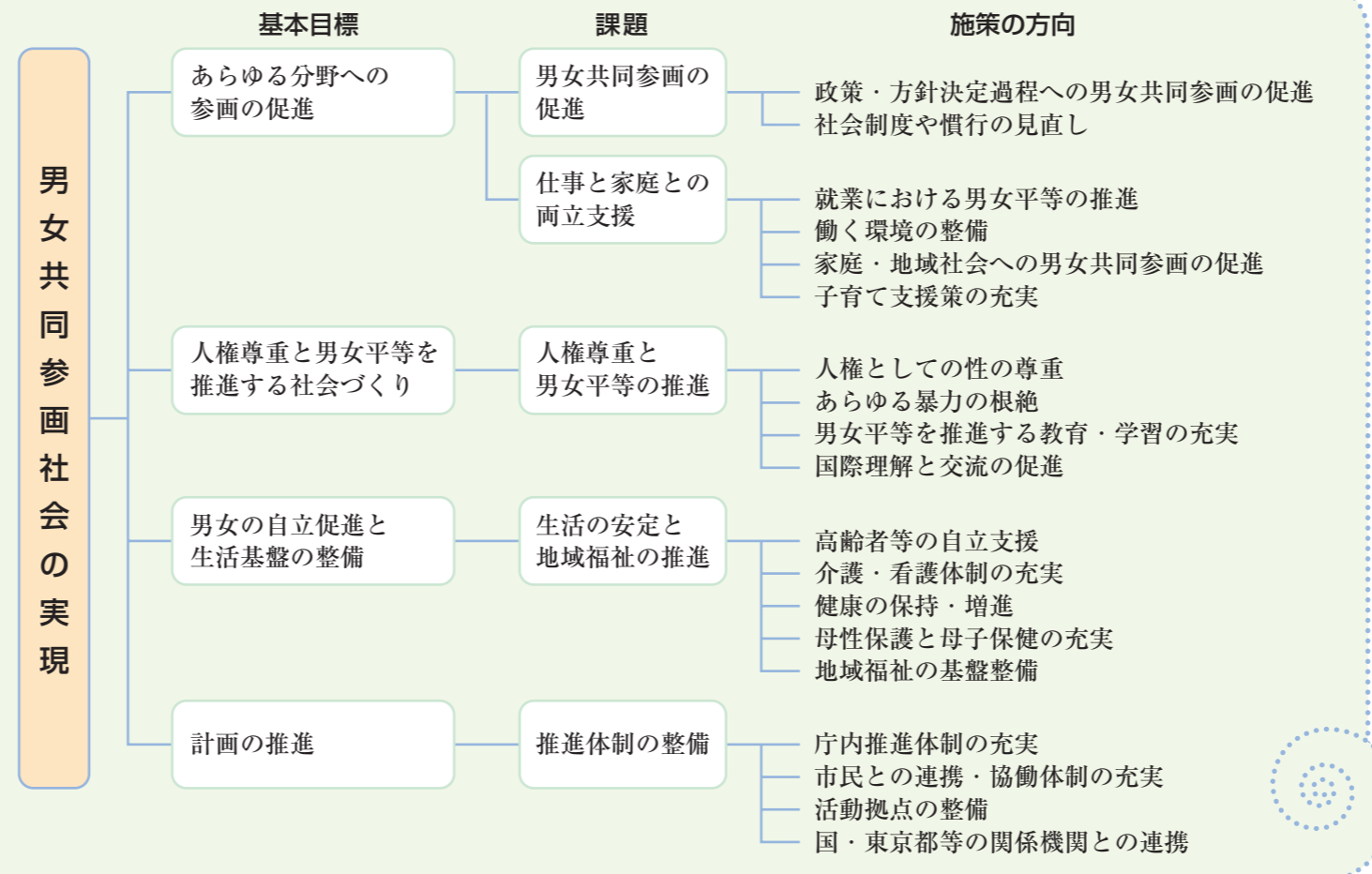
あきる野市の小学生100人に、家事分担について質問してみました。質問①~④は、わが家の家事分担について。家事全般の約6~8割をお母さんが行っており、次におばあさんの分担度が高くなっています。

夕食の片付けや掃除を手伝う子どももおり、「自分のことは自分で」「みんなでやる」や、「洗濯はお母さんが干して、僕が取り込み、お父さんがたたむ」と家族が協力し合っている家庭もありました。

質問⑤「男の仕事って何？」には、「わからない」との答えが3割強ありましたが、洗濯や庭仕事、風呂掃除、ペットの世話、力仕事や修理等の答えが出てきました。「お父さんはいつも家でごろごろ寝てるよ~」には思わず苦笑。でも「外で大変な仕事してる」と答えた子どももいました。

一方、質問⑥の「女の仕事って何？」には、ご飯を作る、赤ちゃんの世話、布団敷き等家事全般が多く、「お母さんにありがたのプレゼントをする」と、自分の家の様子を思い浮かべながら答える子どももいました。さて、あなたの家では???

あきる野男女共同参画プランの体系



あきる野市男女共同参画計画
 「あきる野男女共同参画プラン」
 をご覧ください



この計画は、市の情報公開コーナー、社会教育課、中央公民館、秋川・五日市図書館、生涯学習センター、五日市ファインプラザ等で閲覧できます。



第2回フォーラム 基調講演 樋口恵子さん

あきる野市 男女共同参画のあゆみ

あきる野市では、男女共同参画施策はどのように取り組まれてきたのでしょうか。情報誌の発行、セミナー、フォーラムの開催など、男女共同参画の歩みについて、その一部をご紹介します。

男女共同参画情報誌「エフ・ウェイブ」

創刊号(平成10年度)から第12号(平成15年度)までの特集

創刊号	特集1 ちょっと聞いて 私のつづやき 特集2 あきる野発・ひと「私がやらねば」
第2号	特集1 本日解禁! 男の家事参加 ～もっと一緒に楽しもう～ 特集2 あきる野発・ひと 「職業だってバリアフリー」
第3号	特集 ザ・少子化 育児しない男を、父とは呼ばない?! どうなる少子化
第4号	特集1 男女共同参画社会基本法 ～超カンタンに理解できる裏ワザ～ 特集2 市長インタビュー ～あきる野の未来を語る～
第5号	特集1 共に生きる ～今を大切にしながら、自分らしく暮らしていきたい～ 特集2 小学生・中学生に聞きました 女の子でよかった? 男の子でよかった?
第6号	特集1 翔べ! 20才 男女平等論 突撃インタビュー 特集2 座談会 ITで変わるの!? コミュニケーション
第7号	特集1 育つ力 私が子どもの頃… 特集2 映画から探る女性問題
第8号	特集 ストップ! DV ドメスティック・バイオレンス
第9号	特集 アンパイドワークって知っていますか?
第10号	特集1 言いたい放題 座談会 特集2 時代を映し出す女性雑誌
第11号	特集1 結婚制度の歴史 特集2 現代の結婚事情
第12号	特集1 「あきる野市男女共同参画プラン」への提言 特集2 男女共同参画すごろく



男女がいきいきと暮らす 未来をめざす「エフ・ウェイブ」

あきる野市男女共同参画情報誌「エフ・ウェイブ」は、男女に関するあらゆる問題を含む社会環境の変化を、誌面を通じて伝えるため、平成10年12月に創刊号を発行しました。以来、年2回発行しています。

「エフ・ウェイブ」の編集は、創刊当初から公募の市民編集委員が行なっています。各号とも、企画・取材・原稿作成・レイアウトなど、市民編集委員の一人ひとりが意見を出し合いながら、誌面を作成しています。



みんなで作ろう!

ライフフォーラム

あきる野市では、毎年市民参加による実行委員会を立ち上げ、ライフフォーラムを開催しています。フォーラムの企画及び運営等は、実行委員会が行っています。私たちの身近にある問題をテーマに取り上げて、一人ひとりが自分らしく生きるにはどうしたらよいかを学び、考え、話し合う機会として、開催しています。



第5回フォーラム 実行委員による寸劇
(市民ボランティアによる手話通訳も参加しています。)

女と男のライフフォーラム in あきる野

回数	開催日	テーマ	講師
第1回	平成8年 12月7日	おんなの本音!おとこの本音!	第1部 寸劇(フォーラム実行委員) 第2部 パネルディスカッション 斉藤 睦さん 海渡雄一さん ほか
第2回	平成9年 12月14日	女+男→無限大 家族・自分らしさ・こころ	第1部 スライドシアター 第2部 パネルディスカッション 鹿島 敬さん 小川 櫻子さん ほか
第3回	平成10年 12月5日	「おい お茶」 女と男、どちらが得?	第1部 デイバート(フォーラム実行委員) 第2部 基調講演 福島瑞穂さん
第4回	平成11年 12月4日	「何が不平等なんだ!」 男の言い分 VS 女の言い分	第1部 覆面トーク(フォーラム実行委員) 第2部 基調講演 樋口恵子さん
第5回	平成12年 12月2日	共に立ち上げれ サバイバル超少子高齢化時代	第1部 寸劇(フォーラム実行委員) 第2部 基調講演 門野晴子さん
第6回	平成13年 12月1日	どうする、どうなる?結婚 21世紀、女と男の生き方	第1部 寸劇(フォーラム実行委員) 第2部 基調講演 山田昌弘さん
第7回	平成14年 11月30日	変わりゆく家族のかたち 女の常識・男の常識 いま、むかし	第1部 寸劇(フォーラム実行委員) 第2部 トークセッション 沖藤典子さん 斎藤次郎さん 石丸偉丈さん
第8回	平成16年 3月27日	みんな共立ち 自立と共生 新しいかたち 講演「地域で支える高齢社会」	村田幸子さん

男女共生セミナー

男女が対等なパートナーとして、あらゆる分野に参画し、いきいきと暮らすことを目的に実施します。

- ・現代結婚事情
- ・ドメスティック・バイオレンスってなあに?
- ・マザー・ストレス
- ・男たちの明日
- ・更年期のパートナーとつきあうレシピ ほか

ワーキングセミナー

女性の社会参加・参画をめざした能力開発と、経済的な自立を支援することを目的に実施します。

- ・再就職サバイバル作戦
- ・女性のための就職支援講座
- ・自分に合う資格の選び方 生かし方
- ・知っておきたい派遣・パートの基礎知識
- ・働く女性のための自己表現講座 ほか

ライフステージセミナー

女性のライフステージの各時期において、自立した人間としてのびのびと暮らしていくことを目的に実施します。

- ・女の人生選び
- ・女と男、すてきな関係
- ・どうなる?女性の年金
- ・「子どものために」という前に
- ・女性のための護身術入門講座 ほか

各種セミナー

※[]内は、平成11年度から平成15年度までに実施したセミナーの中から抜粋したものです。





男女共生セミナー

「女の気持ち」

～50年が映す
夫婦と親子のあり方～

平成16年6月19日(土)、あきる野ルピアで、市教育委員会主催による男女共生セミナーが開催されました。

講師は毎日新聞大阪本社編集局次長の白井研一さん。白井さんは、毎日新聞で50年間続いているコラム『女の気持ち』を平成11年から1年半担当。50年の歴史を振り返りながら、記者生活で得た知識や経験などを交えて話されました。

「連載開始は昭和29年、第1回の内容は母子家庭で成長した子ども同士の結婚でした。当時は戦争で父親を亡くした家庭が多く、母親を一人置いて結婚できないと悩む娘や息子の姿がありました。戦後、女性が一人で生活するというのは、想像以上に厳しかったことがうかがえます。

それから25年後の昭和54年、保育園の園長からの投稿「退職ママ」が掲載されました。子どもの小学校入学を機に退職する母親が多く、女性の自立とは何かを

考えさせるものでした。

読者からの投稿は、時代とともに変化する女性の考えやライフスタイルを映し出してきました。特に夫婦や親子、季節の行事にまつわる話題などは、いつの時代も尽きることがありませんでした。仕事と家事、育児の両立の難しさは、今も昔も働く女性にとって変わらない悩みなのかもしれません」と白井さん。

『女の気持ち』は、それを読んだ人たちが「わたしと同じ思いを抱えている人もいるんだ」と共感し、励まされる場でもあったようです。



講演する白井さん

編集後記

平成10年、あきる野女性プラン策定とともに生まれたエフ・ウェイブ。編集委員はすべて公募のあきる野市民です。市民の視点からわかりやすく伝えることを心がけています。

編集会議は、和気あいあいとした雰囲気の中で、ざっくばらんな意見が飛び交っています。全戸配布となった今号では、初心にかえり「男女共同参画」の基本に触れてみました。

これからも男女がともに生き生きと暮らせる社会の実現のためにさまざまな形で特集を組み、情報を発信していきます。

今回、アンケートに協力していただいた小学生のみなさん、ありがとうございました。子どもは親の頑張る姿をちゃんと見ているんですね。

(石川光代、大本浩子、粕谷由美子、中条久夫、藤村美映、森本久仁子、吉田美沙子)

表紙/吉田美沙子

この情報誌に関するご意見、ご感想、また、誌面で取り上げてほしいテーマなどを下記までお寄せください。

Information

第9回 女と男のライフフォーラム in あきる野

日時 平成16年11月27日(土)午後1:30から
講師 篠田顕子さん(会議・放送通訳者)
場所 あきる野ルピアホール

※2歳から未就学児までの保育あり(定員15人・要予約)
※手話通訳(ご希望の方は事務局までお申込みください)

申込み・問合せ

社会教育課男女共同参画推進係へ 558-1111 内線3016

情報誌 編集委員 募集!

男女共同参画情報誌「エフ・ウェイブ」の編集委員になってみませんか。性別・職業・年齢等は問いません。詳しくは社会教育課男女共同参画推進係までお問い合わせください。

内容 男女共同参画社会をめざした情報誌の企画・編集 (取材・執筆・デザインなど)

対象 市内在住・在勤の方

謝礼 年間2万円

任期 1年



エフ・ウェイブ 第13号 2004年10月発行